
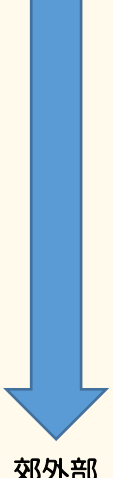


	公共交通事業者の現状・視点から 資料3	地域・公共交通の状況から 資料4	市民の実態・視点から 資料5
千葉市全体に関わる事項	<ul style="list-style-type: none"> ●「乗務員不足」が深刻（持続的な運営面で最大の問題） ●バス事業者間の路線の調整機会（不定期） ●バス停での利用客のマナーがよくない ●外国人への対応（各社個別） ●鉄道の終電時刻、直通運転、バリアフリーの要望 ●バス離れに対し市民の意識、イメージを変えることが必要 ●サービス向上、利用 PR の種々の取組み（各社個別） 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後、人口が減少するなか、高齢化が進展（移動手段確保が重要、ただし需要面での危惧） ●市内の移動が多く、東京への移動も多い ●クルマ利用の割合が特に高く、バス利用は少数（高齢者も同様） ●路線やダイヤがわかりにくい（高齢者と若年層は調べる手段が異なる） ●ターミナルの案内所、HP の案内情報等（各社個別） <p>（市全体のまちづくりの方向性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●集約型都市構造への転換 ●少子高齢化対応、低炭素社会に向け、過度にクルマに頼らない生活に転換 ●公共交通利用を促進し利便性を向上、郊外の地域公共交通を維持・確保（多様な分野で同様） <p>（その他各分野のまちづくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駅周辺の賑わい創出 ○港を活かした観光・集客 ○健康、地球環境、賑わい、暮らし等の分野の観点から、徒歩・自転車・公共交通利用の促進が必要 <p>●主要駅・ターミナル等が、不慣れな高齢者、来訪客にわかりにくい（抵抗感の可能性はある、改善の希望がある）</p> <p>●ラッシュ時間帯に、鉄道、路線バスの便数、利用客とも集中</p> <p>●人口密度の低いエリアに高齢者が広く分布（今後さらに進み、鉄道・バス等では対応困難）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄道の満足度が高く、バスの不満がやや多い ●最寄りのバスのことも知らない市民が存在、ゴミバス支援制度を知らない人が大半（意識の醸成等が必要） ●高齢者は、料金への抵抗感も大きい ●定時性の改善への希望がある ●運行本数、乗り換えの改善への希望がある ●外出でバスが必要な高齢者がいる 外出回数が不足する高齢者も存在 ●運転免許を返納したくてもできない高齢者が存在
<p>都心部</p>  <p>郊外部</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●バスの特定区間で利用客が増加（ただし一部のみ、乗務員不足で増便不可も） ●渋滞でバスが遅延（バス離れ、労働環境に影響） ●送迎バスがバス路線と重複 ●バスロータリーが飽和状態 ●航路を PR しきれていない、観光との連携が必要 ●ラッシュ時の車内が著しい混雑（改善の要望） ●最終列車遅延時等のバス待ち合わせの例は一部 ●特に団地部等で高齢化、バス・タクシー利用客が減少 ●収支のよくないバス路線が存在（減便等の対応と、利用客のバス離れの悪循環） ●タクシーの営業所は多くが市中心エリア（乗務員不足で配車に時間がかかりクレーム） 	<p>（市全体のまちづくりの方向性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●集約型都市構造への転換 ●少子高齢化対応、低炭素社会に向け、過度にクルマに頼らない生活に転換 ●公共交通利用を促進し利便性を向上、郊外の地域公共交通を維持・確保（多様な分野で同様） <p>（その他各分野のまちづくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駅周辺の賑わい創出 ○港を活かした観光・集客 ○健康、地球環境、賑わい、暮らし等の分野の観点から、徒歩・自転車・公共交通利用の促進が必要 <p>●主要駅・ターミナル等が、不慣れな高齢者、来訪客にわかりにくい（抵抗感の可能性はある、改善の希望がある）</p> <p>●ラッシュ時間帯に、鉄道、路線バスの便数、利用客とも集中</p> <p>●人口密度の低いエリアに高齢者が広く分布（今後さらに進み、鉄道・バス等では対応困難）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●最寄りのバスのことも知らない市民が存在、ゴミバス支援制度を知らない人が大半（意識の醸成等が必要） ●高齢者は、料金への抵抗感も大きい ●定時性の改善への希望がある ●運行本数、乗り換えの改善への希望がある ●外出でバスが必要な高齢者がいる 外出回数が不足する高齢者も存在 ●運転免許を返納したくてもできない高齢者が存在

<さらに補う項目として... >

○バス事業者ヒアリング等により、全社ともに**運転手不足が深刻**であることが確認できました。各事業者が課題を抱えている中、網形成計画を策定していくため、事業者との更なる連携（情報共有）が必要であると考え、**バス事業者部会**を設置します。(⇒第2号議案)

○一方、市民（利用者）からの視点では、バスに関する不満がやや多く、**増便を求める**声もあります。網形成計画により、持続可能な公共交通ネットワークの形成を図るためには、各地域における市民のニーズを更に把握するとともに、バス事業者の実情等の認識・共有等が必要であると考え、**市民ワークショップ**を開催します。(⇒第3号議案)